

博士課程教育リーディングプログラム 平成23年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成23年度		
プログラム名	情報生命博士教育院	申請大学長名	伊賀 健一
申請大学名	東京工業大学	プログラム責任者名	関根 光雄
申請類型	複合領域型（生命健康）	プログラムコーディネーター名	秋山 泰

<プログラム進捗状況概要>

1. プログラムの目的・大学の改革構想

本プログラム「情報生命博士教育院 ～ 情報科学を使いこなせる生命健康イノベーションリーダーの養成」では、東京工業大学の130年にわたる専門教育の伝統と、様々な研究科を持つことによる総合力を最大限に活かして、21世紀の社会を支える生命健康科学の分野でグローバルなイノベーションを牽引できるリーダー人材の養成を行う。特に、生命科学の一流の専門家でありながら最新の情報科学を道具として使える人材、または情報科学の一流の専門家でありながら生命科学の方法論と思考を理解する人材を養成する。本学位プログラムで養成する博士は、主専門分野の深い専門性に加えて、副専門に関する基盤的な知識と実際的な問題解決経験を有する“Γ（ガンマ）型”人材となり、優れたコミュニケーション能力により他分野の専門家と協力して、新たな複合分野を開拓する実行力を持つことを目指している。我々が目指す改革のゴールは、情報生命分野の小さな専攻を一つ作るのではなく、本学の持つ生命系と情報系の教育を縦糸と横糸として臨機応変に組み合わせることのできる、柔軟な教育機構の構築である。

2. プログラムの進捗状況

- 学内規程の整備 平成23年12月7日付で「情報生命博士教育院」が学内組織として発足し、「東京工業大学情報生命博士教育院規則」が施行された。また、大学院学則に「東京工業大学情報生命博士教育課程規程」（平成24年4月1日施行）を定め、正式な教育課程として学位プログラムを開始する。
- カリキュラムの整備 4つの科目群、総計46科目の授業が平成24年4月1日より開始される。前学期授業について教員および教室の手配を完了済み。
- 学生の選抜 平成23年度内に9専攻から選抜試験を経て合格した課程所属学生は22名。4月に実施する新入生の選抜と併せて約45名の体制に。
- 学生説明会 学内説明会を複数開催。学外では、平成23年度はベトナム（ホーチミン市）、台湾、大阪、福岡、にて学生募集説明会を開催した。
- 特任教員雇用 6名の特任教員の公募採用決定。異文化コミュニケーション科目でも3名の教員の採用決定。4月初旬からの授業開始が可能になった。
- 学修環境構築 当教育院独自の演習・授業を担保するため、J3新棟を中心に環境を整備。両キャンパス間に遠隔講義システムを導入し運用開始済。
- 奨励金 奨励金要項を学内で制定し、平成24年4月1日から課程所属学生の一部に奨励金付与を開始。
- 夏の学校 平成24年9月3日～5日に開催することを決定し、アメリカ、ドイツ、イギリス、中国、ベトナム等の各国と、参加者を調整中。